

まえがき

茨木市の総持寺と高槻市の昭和台とは、同じ富田台地の上で、今は小さな溝(五社水路)で分かれています。

富田の慶瑞寺の創建は、寺伝によれば、694年(持統天皇8年)に、僧道昭が創建したといわれています。

総持寺の創建は、寺伝では元慶3年(879年)頃、藤原山蔭が創建し、山蔭の三回忌の寛平2年(890年)に伽藍が完成したとのこと。

共に古い歴史を持った“まち”で、共通しているところも多くあります。

阪急富田駅と阪急総持寺駅間は、約1kmで阪急電鉄の駅間で最も短いのではないかと思います。

阪急富田駅から総持寺境内までは、標高差は殆ど無く、「高槻まちかど遺産H29-4」の山家道の道標で示すように、総持寺道(約1.4Km)です。

子安天満宮(高槻市赤大路町11-12)や総持寺開基・山蔭中納言御廟を經由しても約1.5Km程度で、軽いウォーキングのルートとしても最適です。

このような事から、総持寺さんの資料等からガイドブックとして纏めました。

これも活用し楽しく健康ウォーキングが出来るように、スマホでも見られる様にしました。また必要なページは、簡単に印刷できるようにもしました。

多いに活用下さい。

